



発行 真宗大谷派 飛騨御坊真宗教化センター
発行者 三島 多聞
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ 照らされて

日常は変わって

池崎 方子



〈略歴〉
一九八三年大分県生まれ。
金沢教区正林寺准坊守。
真宗大谷派青少年スタッフ。

私たちがお預かりしているお寺は、古い港町にひっそりと並んでいます。山門も境内もない、小さなお寺です。でも、一ついいことがあります。それは、本堂が生活道路沿いにあることです。朝夕は通学路として子どもたちが本堂前を通ります。そばにはゴミの集積場があり、週二回、町内の方々が行き来します。行事やお参りが何もかも中止やお休みになったこの春、何かできないかなあと連れ合いと二人でほんやりと考える日々が続きました。あれこれ思い巡らすうち、「これだ！」と思いついたのが、本堂の戸を開け放ち、サボリ気味だった「お寺の掲示板」を

復活させることでした。さらに、縁側のスペースを「えんのまんなか」と名付け、日替わりで絵本を二冊置くことにしました。絵本を選ぶこと、二週間に一度書きかえる法語を考えることが、私たちの日課になりました。四月・五月は、小学生の通学こそなかったものの、サイクリングや散歩に出る方も多くなり、立ち止まる人の気配を多く感じるようになりました。そして、六月の学校再開と同時に、「小さな人たちへ：」と子ども版の法語も書くことにしました。最初の法語には、祖父江文宏さんの「大丈夫だよ 生きていけるよ」という言葉を選びました。不安の中にいる子どもは

もちろん、大人にも届くように、そして自分自身に言い聞かせるように。朝は足早に学校へと急ぐ子どもたちですが、放課後になると、ある子は解放されたようにはじけ飛んで、またある子はのんびりと帰ってきます。学校再開後しばらくして、登下校を一緒に歩いて見守るボランティアのおばさんと低学年の子どもたちが、本堂前で足を止め、ひと休みするようになりしました。ランドセルをおろし、何人かで縁側に腰かけて絵本をのぞき込む様子が、二階の私の部屋からもわかります。また「お寺はあそびにくるところです」という言葉を読みあげた後、「これどういこと？」と、

すかさずつっこみを入れる声や響き渡り、思わず吹き出し笑ってしまったこともあります。ボランティアの方が手を合わせているところに「何してるの？」と尋ねる声も。「仏さまにお参りしてるんや」、「神さまじゃないの?」、「お寺にお参りは仏さまやよ」。そんなやり取りも聞こえてきます。ほんのわずかな時間を過ごした後、「仏さまにお礼して帰ろう」とおばさんが呼びかけ、子どもたちの足音が遠ざかっていきます。これが私にとっての「新しい日常」です。ただただ嬉しく、尊いひと時です。当たり前だった日常が一変し、行事を開くことが難しくなっても、お寺はお念仏申す場、誰かと語らう場、自分に向き合う場であることを願われ、求められ続けているのだと、子どもたちをはじめ、地域の方々に教えていただきました。

半年前まで、めったに開くことのない扉の向こうに、静かに立つておられた仏さま。今は行きかう人からその姿が見え、一人ひとりに様々な感情や気づきが生まれていきます。それは「どんな時も目の前のあなたを救う」という仏さまの願いがはたらいているからにちがいありません。



問 法事の日取りは、忌日(ご命日)より前の方がいいんやもな?

答 ご法事の日取りには、「早いほうが良い」、「遅いと悪い」ということはありません。

今年、新型コロナウイルス感染症の流行や、令和2年7月豪雨の影響により、ご法事の日取りを決めるのにご苦労されている方が特に多いように思います。しかし、「法

事は命日より早く勤めんならんのやもな?」というご相談は、コロナ流行や豪雨災害より前からよく耳にします。ご命日は大切な日ではありますが、ご法事の日取りがご命日より早いから良い、遅いから悪いということはありません。亡き人をご縁に、「私たちが仏さまの教えに出会う」ことが、ご法事をお勤めする大切な意義になります。

「法事が遅くなると、成仏できないんじゃないか?。どこかで迷ってるんじゃないか?」と、亡き人の行き先を決めつけたり、「遅くなつたことを怒って、何か悪いことが起こるんじゃないか?」

と、亡き人をあたかも崇り神のようにしてしまう、私たちの迷いの生き方を問うのが、仏事の大切な意義です。ご法事を勤める皆さんが集まりやすい日取りをお選びください。

余談ですが、「ご命日」という言葉、不思議な言葉だと思いませんか?お亡くなりになられた日は、手続き書類等では「死亡日」と書きますが、仏教では「命の日」と書かれます。大切な方が亡くなられた日ということにとどまらず、亡き人を通じて私たちが「命のあり方」に思いを馳せる日にしていきたいですね。

<p>別院定例法座</p> <p>10月28日 親鸞聖人ご命日法座</p> <p>講題「輪廻と浄土の現実性」</p> <p>講師 畑 亮徳 氏 (願徳寺住職)</p>	<p>午後1時から</p> <p>11月11日 大谷婦人会報恩講</p> <p>講題「四つの死生観」</p> <p>講師 三島多聞 別院輪番</p>
--	--

ひだご坊 一口法話

11月1日～ 細川 宗徳 氏 (蓮乗寺)

11月15日～ 白川 明子 氏 (願生寺)

URL: <https://hidagobo.jp/sermon/>



放送期日	10月31日まで 現在毎日放送中!
放送時間	7時15分～7時30分 17時30分～17時45分
放送内容	お坊さんのお話、映像仏典童話
視聴方法	ケーブルテレビ Hit net TV!への加入が必要です。(お問合せ先 0800-200-8688)
※この番組内容は、11月からYouTubeでも配信します。	

2020(令和2)年度

11月2日(月)・3日(火)

GO TO GO BOSAMA

2日朝7時 晨朝

3日朝7時 晨朝

日中 11月2日 午前10時

参勤・参拝 一組・古城組 対象
講話 帰雲 真智氏(還來寺住職)

速夜 11月2日 午後1時30分

参勤・参拝 二組・益田組 対象
講話 小原 正憲氏
(専念寺住職)

11月2日 午後5時
初夜
御伝鈔
拝読

報恩講

11月2日 午後6時
ひだご坊 第38回
真宗公開講座(第2回)

絵解法話
「親鸞聖人御一代記」
講話 近藤 龍磨氏
(岐阜地区教化センター長)

日中

11月3日 午前10時
参勤・参拝 清見組・朝高組
荘白川組 対象

仏教讃歌と講話
(仏教讃歌を歌う会)
講話 三島 多聞
(高山別院輪番)

4日朝7時
おさらえ勤行

コロナ感染に配慮し、
内容を変更して報恩講を厳修いたします。
参勤法中、並びに参拝者を各組に分けて厳修
いたします。
参拝席は150席ほどご用意いたしております。
お参りの際はマスク着用、手指の消毒等に
ご配慮ください。

＜中止事項＞

- ・ご坊名物の「大根汁」
- ・昼のお齋
- ・フリーマーケット
- ・子ども報恩講
- ・抹茶接待
- ・子ども作品展表彰式

家族で話そう

人生の

「こんなこと」「あんなこと」

佐賀枝 夏文

歴史よもやまばなし

一 洪沢栄一と
大草輪番との出会い

新しい時代と混乱

今回は、大河ドラマ、そして新
紙幣に登場する洪沢栄一と大谷派
僧侶の大草輪番のお話をします。

洪沢栄一は日本の近代化の基盤
をつくり上げた人物としてご存じ
とおもいます。洪沢栄一は日本の
主な銀行、企業を起こしましたか
ら、今度はいま大河ドラマもそ
のことに焦点が当てられたドラマ
として放映されることでしょう。
私が洪沢栄一について調べるきつ
かけは、大谷派の社会的実践を調
べたことでした。

明治時代の派と仏教界は廃
仏毀釈からはじまります。封建時
代には檀家制度のもとにお寺と門
徒さんの関係が築かれていました
が、明治時代は近代化社会への転
換期となりましたから、混乱の時
代を迎えることになりました。

人々は封建時代には土地に封じ
られていましたが、近代化社会
を迎え自由に往来ができるようにな
りましたから、ムラ共同体から
都市に移る人々もありました。し
かし、都市は受け入れるだけの基
盤が不十分でしたから、行き場の
ない人々がスラムを生活の場とし
ていました。これが、近代化とス

ラムの関係といわれています。当
時、浅草にもスラムがありました。

ハローワークのルーツ

東京浅草別院に大草輪番(本山
から命を受けて宗務諸般を管理す
る職)が就任します。スラムの状
況は、仕事に就けない、そして、
病を抱えたりと大変な窮乏生活で
した。この状況を目の当たりにし
た大草輪番は支援を模索し、洪沢
栄一と出会うことになりました。

洪沢栄一の前半生は日本の主な
銀行、企業を起こしますが、後半
生は福祉事業である東京養育院
の院長として足跡を残していま
す。大草輪番が洪沢栄一の助力を
求めたのは東京養育院長時代と
いうことになりました。洪沢栄一は
知恵袋である安達憲忠を大草輪番
に派遣します。そして、大草輪番
と安達憲忠は「無料宿泊所」を設
立します。

この「無料宿泊所」は、止宿
(宿泊)と職業紹介を主な目的と
したものでした。開所した「無料
宿泊所」は多くの利用者を受け入
れることになりました。明治三十
年代の多くの職がなく、困窮した
人々には必要で、三年後には「第
二無料宿泊所」が開所します。

この事業の職業紹介部門はさま
ざまな団体によって各地に開設さ
れ、労働と福祉の機関として発展
し、現在のハローワークとして受
け継がれています。

福祉の母の誕生

洪沢栄一と大草輪番の出会いか
ら誕生した東京養育院巣鴨分院の

開設のお話をします。

明治四十年代、大谷派は宗門の
中学校を東京と京都に設置経営し
ていました。事情があり京都に統
合することになります。東京巣鴨
にあった東京真宗中学校の校舎
と校地を売却することになりま
す。この巣鴨の校舎と校地約一万
坪を洪沢栄一が買い受けます。

東京養育院には、子どもだけで
なく老人も病人も分けられること
なく入所していました。子どもの
ための処遇ができる分院の構想を
持っていた洪沢栄一は、大草輪番
の仲介で本山から買受け、立派な
校舎をそのまま巣鴨分院として開
所します。

この巣鴨分院の開所にあたり、
安達憲忠が奔走します。会津戊辰
戦争のおり、敵味方の区別なく
負傷者の看病に尽力した瓜生岩子
に出会います。この瓜生岩子を巣
鴨分院に招聘して、巣鴨分院の幼
童掛長として着任させます。瓜生
岩子の分け隔てなく慈しみ深く子
どもたちに接する実践の姿は、後
世に伝えられ、「福祉の母」、「日
本のナイチンゲール」として保
育、福祉を志す若者に伝えられて
います。今も浅草の浅草寺の境内
に、慈しみに満ちた座像が子ども
たちを見守っています。

瓜生岩子の波乱の人生の中で、
ある僧侶に出会い仏教に道を求め
る機縁を得ます。瓜生岩子は仏教
の教えに導かれて福祉実践に精進
したと言ひ伝えられています。

次回は尾角光美さんの「仏教
×グリーフケア①」です。